

立川市立上砂川小学校学校経営方針

校長 福原 憲生

本校は、開校以来40年を超える歴史と地域社会の願いを踏まえ、自ら考え学びつづけ、新たな時代を築く子供の育成を使命とする。また、コミュニティ・スクールである学校の役割として、学校運営協議会とともに教育課程を編成し、地域に生きる子供たちを健全に育成することにもある。よって、学校教育目標達成の手立てを共有し、地域住民や保護者と協働した教育活動を推進する。

また、本校の特色となる重要な方針は、学習への意欲と自己肯定感を高めていく教育活動にある。そこで、地域社会全体に広げた学習活動を通して、身に付けた基礎的な知識や技能を実践の場面で活用させ、子供が活躍できる場面を意図的に設定していく。

さらに、すべての教育活動は、学校教育目標の達成に向けて行っていく。持続可能な教育活動を通して、多様な価値観から自らの考えを深め、だれもが成長することに喜びを感じるウェルビーイングな学校を目指す。

1 上砂川小学校の教育目標

本校の教育は、人権尊重の精神を基調として多様性に富んだ国際社会に貢献し、社会の変化に主体的に対応できる人間性豊かな児童の育成を目指して、教育目標を設定する。

☆ 自ら考える子（知） ○ 心美しい子（徳） ○ たくましい子（体）

☆は重点目標

2 学校経営をすすめる5つの基本理念

～児童・教職員・保護者・地域にとって居心地のよい学校づくり～

- ① 子供の安全と利益を判断の最優先とする。
- ② 教育公務員として法を遵守し、ライフ・ワークバランスの視点を持ち、服務事故防止する。
- ③ 教職員がチームとして協働するとともに、一人一人が責任をもつ。
- ④ 教職員が前例にとらわれず、目的達成のための工夫を行う。
- ⑤ 保護者・地域とのつながりを大切にし、信頼力を高める。

学校教育目標	自ら考える子	心美しい子	たくましい子
学校の姿	基礎的・基本的な学習内容が身に付き、活用している。	楽しく通い、誇りに思っている。	一人一人が役割を果たしている。
児童の姿	自ら学び、よく考え、伝え合い、主体的に判断して表現している。	互いに協調し、人を思いやる心や豊かな感性を磨いている。	心身ともに健康で、他者と協働で目標達成ができています。
教師の姿	指導力向上に努め、研修等を通して力量を主体的に磨いている。	他者を深く理解し、他者のよさを認めている。	教育公務員の自覚と仲間との協働で、主体的な課題解決に当たっている。
基本計画	1 個別最適と協働的な学習活動 2 習得内容の活用で学習意欲の向上 3 個に応じた学びの支援	1 安心と楽しみのある学校生活 2 豊かな感性を磨く活動の推進 3 自己、他者理解を深める学習活動	1 体力向上の推進とけがや病気の予防指導 2 集団行動の指導充実 3 校外の団体等を活用した学習活動
手立て	○学習目標の焦点化と学習過程の明示 ○児童がめあてを設定、振り返り ○意図的な学習の場の設定 ○習得内容を定着する場面の設定 ○立川市民科と体験活動で活用場面の充実 ○コグトレの日常化 ○タブレット PC のスキルアップ指導 ○電子黒板の効果的活用	○学校ルールの指導徹底 ○道徳授業の充実 ○毎月第3木曜日の「いじめめものがさあずディ」 ○主体的な児童活動と遊びを通した児童理解 ○毎月の音楽朝会 ○おさびプロジェクト ○プロによる文化芸術体験 ○QU の効果的活用と理解教育の充実	○基本運動の場の設置 ○主体的なレクリエーション活動 ○体育的行事としての旬間を設定 ○日常の保健指導で予防指導の充実 ○集団行動の基礎、基本指導の徹底 ○幼保小中連携活動 ○地域、保護者と連携した教育活動の実施 ○大人が手本となった指導
学校危機管理（事故・事件・災害等）			
＜有事の際の役割＞ ・校長の役割…判断と責任 ・副校長の役割…情報の精査、渉外 ・主幹教諭の役割…情報収集の指導、監督 ・主任教諭…教諭とともに情報収集 ＜平時の備え及び取組＞ ○いじめ対策委員会、不登校対策の定期的取組、施設等安全点検、有事を想定した実践訓練、防災・安全教育、連絡体制の確立、服務事故防止研修			
業務改善			
○分掌組織で取組目標、成果目標を設定し、全教職員で目標達成に向けた主体的な業務推進による、効果的で効率的な学校運営 ○学校教育目標に沿ったねらいの設定とねらいに沿った内容で、就業時間内ですべてが取り組める計画立案 ○毎週水曜日を定時退庁日に設定 ○年次有給休暇をリフレッシュやスキルアップに有効活用			